

Title	越境文化研究イニシアティブ論集 第3集 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	越境文化研究イニシアティブ論集. 3
Issue Date	2020-03-31
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/75566
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

【編集後記】

越境文化研究イニシアティブの論集第3集をお届けいたします。プロジェクト型の研究組織としての越境文化研究イニシアティブの活動は今年度(2019年度)が初年度ですが、その前身であるグローバル日本研究クラスター(2014~2018年度)の発行した報告書の号数を引き継いで第3集とさせていただきます。

2019年度も、多くの方々のご協力を得て、国際シンポジウム、国際ワークショップ等を開催することができました。本論集4-5頁所載の活動記録にお名前が見える方々に、あらためてお礼申し上げます。また、今年度も、国際日本研究コンソーシアムの援助を受けて、Graduate Conference in Japanese Studies 2019を開催することができました。その詳細は、ランブレクト助教によるPreface to Special Feature 2に記されています。そこにお名前が見える方々にも、あらためてお礼申し上げます。

今年度の活動を現場で支えてくれたのは、ニコラス・ランブレクト助教と、RAの小田桐ジェイクさん、ガラシーノ・ファクンドさんです。とりわけ、着任早々から教育・研究の両面で八面六臂の活躍をしてくださったランブレクト助教に感謝いたします。

今年度も3月後半にユタ大学で在日文学を主題とするカンファランスが開催される予定になっていて、本研究グループからは宇野田とランブレクト助教が参加する予定にしており、北米の仲間と再会できるのを楽しみにしていたのですが、コロナウイルス流行の影響でキャンセルになってしまいました。EU内でさえ国境が封鎖されるさまを見て、「越境」を掲げる本研究プロジェクトのないうことが問われている気がいたします。この逆風に負けずに、2020年度の活動に取り組んでいきたいと考えています。

(宇野田 尚哉)

大阪大学大学院
文学研究科 越境文化研究イニシアティブ論集 第3集

2020年3月31日 発行

編集 大阪大学大学院文学研究科越境文化研究イニシアティブ(代表 宇野田尚哉)

発行 大阪大学大学院文学研究科

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5

印刷 キンコーズ・ジャパン株式会社

ISBN 978-4-908326-07-3

ISBN 978-4-908326-07-3